# 「第６回大井川鐵道全線復旧・復興に向けたまちづくり意見交換会」意見要旨

**【日　時】**　令和７年４月 10 日（木）　午前 10 時から午前 11 時 10 分
**【場　所】**　総合支所２階
**【出席者】**　参加メンバー９人
【傍聴者】　４人
**【内　容】**

| 内容（要点筆記） |
|---|
| **●大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会の報告**　説明：事務局 |
| Q.具体的な工事スケジュールを教えて欲しい。<br>A.合意されたところであるので大井川鐵道で再度現場確認・工事工程を作成している。県・市町もこれから予算化していく段階である。細かいスケジュールは決まっていない。<br>Q.工事負担額が増加した場合、今後検討することになるのか。<br>A.確認書に沿って対応していく予定である。 |
| **●情報交換、意見交換　10:35-11:00** |
| ○大井川鐵道が 100 周年を迎えた。記念するのぼりを１枚立てている。<br>方向性がきまった今の時点で、不通８駅と千頭駅にのぼりを掲げて地元民や観光客へ 100 周年周知のため、のぼりを作成してはどうか。<br>○のぼりの作成には賛成である。観光の立場では、４年間で大井川鐵道の利用客をどのように取り戻すか。一度離れた客を取り戻すのはなかなか難しいところがある。大井川鐵道に乗車させる方法を考え一生懸命やっていきたい。<br>○不通になったことで一番打撃を受けているのは日帰り客である。<br>○湖上駅を目的地にするルートができると寸又峡を目的地に戻すのは難しい。<br>○大井川鐵道には、地元に寄り添った営業、協力・支援する方法をもっと真剣に考えてもらいたい。<br>○のぼり作成に賛成する。事業者として購入して掲げることも考えている。<br>○復旧にむけて方向性が示されたことは嬉しい。とはいえ、４年間現在と同じ状況が続く中で、どのように賑わいづくりをしていくか、復旧後どのように観光客を取り込んでいくかは考えていく必要がある。<br>○千頭駅前の事業者も観光客に寄り添った営業をしようと変わろうとしている。原資もないので啓発活動が重要になると考えている。<br>○継続して活動することが良い結果につながると考える。<br>○草刈、駅舎清掃を実施してくれている。塩郷でも予定していたが、軌道内立ち入りは禁止されたためあまり効果がなかった。<br>○イベント等を継続して開催し、関心を持ってもらおうとおもう。 |

| |
|---|
| ○インバウンド等を見据えて広域的に取り組んでいく必要があるのではないか。<br>○方向性が決まったので町民を巻き込んで全員参加でできればよいと感じる。<br>○自分たちで、観光客が何度も足を運んでくれるように受け入れ体制を構築していかなければならない。<br>○大井川鐵道には、住民が参加できるような復旧の案をだしてもらえると有難い。<br>○施設に対する参加者の作業精度やけがをした場合の補償を考えるとある程度の規制は必要になる。<br>○復旧工事にあたり、地元業者を使ってもらいたいと思う。 |
| **●その他（大井川鐵道より）** |
| ○地域住民の支援をいただき、それが国や県を動かしたと思っている。感謝申し上げる。<br>○工事は笹間渡から北上していく。SL 運行を考えると地名駅や下泉駅が交換機になっているので、下から順に開通できればと思っている。<br>○令和 10 年の復旧を目指して、皆さまと協力していきたいと思っているのでよろしくお願い申し上げる。 |

終了